



## 広島県支部南東部地区活動報告

### 【行事】尾道市医師会看護専門学校 防災講座

日時：H24年9月25日13時～14時

場所：尾道市栗原東 尾道市医師会看護専門学校

主催：尾道市医師会看護専門学校

参加者：同校学生170人、教職員15名

支援：日本防災士会広島県支部

### 〔講演内容〕

#### (1) 「防災士の紹介」 広島県支部長 箱上恵吾

- ・防災士の役割、任務と活動状況、自助・共助・公助の説明
- ・東日本大震災の教訓（釜石の奇跡）、南海トラフ地震に向けて意識の向上の必要性
- ・地震に対して個人、家族で身近に取り組むことなど

#### (2) 「最近の自然災害と尾道の災害、防災を考える！」

南東部地区防災士 桑木光信

- ・自然災害と予知と防災の解説
- ・尾道市の災害の歴史
- ・東日本大震災の想定外被害と教訓
- ・迫りくる南海トラフ巨大地震の内容と備え
- ・瀬戸内海沿岸地区への影響  
震度6強と4m津波のダブルアタックに備え、耐える事！
- ・津波と波浪の違い  
津波高さと浸水深さの理解、堤防・水門は有効か、津波の速度と特性
- ・防災マップでの確認  
自分の住む地域の危険箇所、避難場所、避難ルートなど  
標高＝TP、浸水深さの定義と地面や住宅の関係
- ・次に起こる「南海トラフ巨大地震」では家族、地域の日頃の防災力が明暗を分ける。発災時は共助や公助の救助支援は難しく、自助（自分と家族）防災力しかない。  
そのためには地震、津波の想定内容をよく理解し、訓練と備えが必要。
- ・看護師を目指す学生への期待  
災害が発生すれば怪我人、病人が多く発生し、医療部門は手薄で混乱する。苦しむ多くの被災者に対応できる医師、看護師の皆さんには多くの救助治療の期待がかかる。いまから医療の知識、技術をしっかりと学んで災害時に役立つ看護師になられることを期待します。

#### (3) 学生の謝辞

学生代表から災害、防災について具体的で身近な講話は理解し易く有意義で今後の巨大地震に対する防災意識、取り組みに参考にして行きますと謝辞をいただき、講演の遣り甲斐を感じた。



箱上支部長の講演



桑木防災士の講演



看護学校学生の聴講の様子



学生代表の謝辞の様子